



本日のプログラム ゲスト卓話「祖父・椋鳩十のメッセージ」
 梶鳩十顕彰活動・薩露交流促進協議会文化企画広報 久保田 里花 様

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

前回例会出席率 89.58%

会長の時間

高岡 和也

テーマ：会員増強について

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」となります。

毎月の第1回目の会長の時間のテーマは、RIが定めたその月のテーマについてお話ししたいと思います。



現在の全世界中のロータリアンの数はどちらかという横ばいからやや増加傾向に転じているという状況です。

19-20年度は119万人、20-21年度は117万人、21-22は116万人、22-23は117万人に回復23-24は集計がでておりませんが増加しているのではないかと考えられます。2020年初頭にコロナが流行し始めて一気に減少するもその後は徐々に回復してようようです。

2730地区のロータリアン数は19-20年度(7/1時点の比較)は2412人、20-21は2438人、21-22は2383人、22-23は2365人、23-24は2383人と、ここ数年はやはりコロナの影響もあり年々数十人単位で減っていましたが、今期スタートは実績は2383名と前年比+18名となっております。(間違えていたらすいません、マイロータリーの数字を参照しました。)

我がクラブは、ここ数年間は年度中に増減をしながらもなんとか、53名を維持していましたが、今期の現時点での会員数は50名と昨年比で3名減となっております。単純に世界人口は増えているので、世界のロータリアンは増加

傾向で、日本は人口減少国なので減ってしまっても仕方ないという言い訳もできますが、それではいけません。現に地区の会員数は回復の兆しがあります。

先日8/1の鹿児島市内RCの会長幹事会での話ですが、クラブの現状について発表する機会があり他クラブの状況などを少し知ることができました。すると、意外にも多くのクラブが会員増強に相当な力をいれて結果として成功しているクラブが沢山ありました。鹿児島RCは今期+1名で現状75名、西RCは今期+5名で78名、東南RC+6名で27名、北RCも4名増加で22名、東は+2名で22名、鹿大アカデミーも+4名で41名といつの間にか巨大化しています。我がクラブは鹿児島市内RCの中では、現時点では、西78名、鹿児島75名に次いで3番目に大きいクラブではありますが、サザンウインド43名、アカデミー41名とその差は確実に小さくなっておりま。

新クラブは例会の数が少なく会費が安いなど、クラブによって多様な特徴がでてきており、それが新入会員によっては魅力となったりするケースもあるとは思いますが、再度、本日はガバナーアドレスに続きクラブフォーラムもありますので、我が伝統ある中央クラブの魅力を再認識し、皆で結束力を高めて会員増強に取り組んでいきたいと思っております。

また今月21日からは、情報集会(テーマ：会員増強について)と、最終週の例会では会員増強フォーラムとなっておりますので重ねてよろしくお祈いします。

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2730地区 ガバナー 池ノ上 克(宮崎RC)



国際ロータリー2023-2024年度ガバナーの池ノ上克(つよむ)です。私は昭和21年1月に鹿児島市内で生まれました。生後3カ月の時、父の仕事の関係で移住した長崎県で高校までを過ごしました。昭和39年に鹿児島大学医学部に入学し、市内の西千石町にあった母の実家から通学をつづけ、昭和45年に卒業しました。その後は鹿児島市立病院の産婦人科に勤務していました。その間3年半はカルフォルニアの大学での周産期医学の勉強のために留学しましたが、合計26年間の鹿児島生

活を送ったこととなります。平成3年に縁あって当時の宮崎医科大学産婦人科に赴任しましたが、それ以来宮崎で仕事を続けています。

この度山ノ内文治直前ガバナーの後を受けて、国際ロータリー第2730地区のガバナーに就任しました。どうぞよろしくお祈いいたします。

新たに国際ロータリーの会長に就任したスコットランドのゴードン マッキナリーさんは、今年度の国際ロータリーのテーマを「Create Hope In The World: 世界に希望を生み出そう」とされました。アメリカのフロリダ州オーランドで2023年1月8日から12日にかけて行われた国際ロータリー協議会の初日の講演で、このテーマが力強く宣言されると、会場につめかけた世界中のロータリー関係者はスタンディングオベーションでこれを受け止めました。

んと87.09歳です。これからすると61.98歳はまだまだ若いと思ひますが、社会情勢を鑑みても我がクラブにおいても若い新入会員を迎えていく必要はあります。

なお、先期の新入会員の平均年齢は51.8歳です。

④女性会員数について

現在5名の女性会員が在籍しており在籍比率は10.2%、昨年は4名在籍の在籍比率7.5%でしたので+2.7%となっております。第2730地区全体でみると6月時点での会員数2304名に対し女性会員は245名在籍しており、地区の平均女性会員在籍比率は10.6%となります。在籍率的には我がクラブは平均に近い比率になっていますが、女性活躍推進の観点からすると更なる女性会員を増やす必要があると思ひます。先期はベストフレンドや例会での卓話で色々な方面で活躍されている女性が例会に出席いただく機会も多くありました。是非入会していただけるようにフォローしていく必要があると思ひます。

⑤例会出席率について

週報データを参考にすると7月の我がクラブの出席率は74.39%でした。我がクラブでは出席率80%を目標にしています。7月時点での会員数50名で計算すると目標80%達成するためには40名以上の例会出席を目指していく事が必要

だと思ひます。

総括

以上、数値的なデータも含めて、我がクラブには歴史もあり、会員数も多く、例会出席率も高いです。また、会員同士年齢や職種の垣根を越えて仲が良く和気あいあいとした親しみやすいクラブです。私自身もロータリー歴は1年と浅いですが、皆さんとても親切で面倒見がよく、すぐにクラブに馴染むことができました。新入会員の方も今後入会される方も同様にすぐに馴染むことができロータリーライフを楽しんでもらえると思ひます。

また、世の中の流れが少子高齢化、人口減少が進む中、当クラブにおいても今後その影響は出てくると思ひます。そのため会員増強はもとより女性会員や若手会員増強にも今後注力していく必要があると思ひます。我がクラブにおいても鹿児島大学アカデミーロータリークラブと合同でローターアクトの復活に向けて動いています

我がクラブはとても魅力の多いクラブであると思ひます。我がクラブの強みはさらに強化できるように、そして弱みの部分は今後改善し、クラブとして成長していくことができらばと思ひます。以上です。

鹿児島中央RCにお越しくださいました。ぜひ中央RCの例会を楽しんで帰ってください。ガバナーアドレスもよろしくお祈いいたします。

- 海江田 順三郎君/池ノ上克ガバナーご一行の公式ご訪問を心から歓迎申し上げます、ご指導に感謝いたします。
- 本坊 修君/池ノ上ガバナー、一年間お身体に気を付けて頑張ってください。

8月7日のスマイル 小計 13,710円 2023~2024年度 累計 117,320円

- 8/20(日) 指名出席者→高日 会員
- 4)次週 8/14(月)お盆の為休会
- 次々週 8/21(月)ゲスト卓話「祖父 椋鳩十のメッセージ」
梶鳩十顕彰活動・薩露交流促進協議会文化企画広報 久保田 里花様

出席報告：出席委員会
 スマイルボックス：親睦委員会
 卓話：「ガバナーアドレス」
 第2730地区ガバナー 池ノ上 克君
 ※クラブフォーラム

- 1) 発表
 - ①クラブの奉仕への取り組み状況と意識について 下村 哲也君
 - ②クラブの強みと弱み(クラブが抱えている問題)について 濱上 友美君
- 2) ガバナーコメント・総評 ガバナー 池ノ上 克君

次回例会 令和5年8月28日(月)

会員増強フォーラム

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2099回例会	50名	43名	89.58%
前々回(7月24日)の補正	50名	35名	74.47%

スマイル・ボックス

●鹿児島RC 有川 達也君/鹿児島中央RC ガバナー公式訪問にお招き頂き有難うございます。本日のガバナー公式訪問が鹿児島中央RCの活動の充実、発展に繋がることを祈念します。本日は宜しくお祈いします。

●高岡 会長、梶幹事/池ノ上 克ガバナー、佐藤地区幹事、長友副幹事、内村副幹事、有川ガバナー補佐、本日はようこそ

ロータリーソング：「奉仕の理想」
 職業宣言唱和：1・2
 ゲスト紹介：米山記念奨学生=グエン ティ トウ様
 ビジター紹介：第2730地区
 ガバナー 池ノ上 克様(宮崎RC)
 地区幹事 佐藤 嘉信様(宮崎RC)
 地区副幹事 長友 良弘様(宮崎RC)、
 内村 彰様(宮崎RC)
 鹿児島市内Bグループガバナー補佐
 有川 達也様(鹿児島RC)
 バナー贈呈：池ノ上ガバナー、有川ガバナー補佐へ、
 バナー贈呈

食事：「百万ドル食事」・「本日の演奏」
 会長の時間：会長 高岡 和也君
 奨学金支給：グエン ティ トウ様
 会務報告：幹事 梶 浩多郎君
 1) 本日の配布
 ①週報 ②月信8月号 ③年次計画書・年次報告書
 2) 2023年度地区大会のご案内(8/1FAX 済み)
 日程：10/13(金)～15(日)
 会場：シーガイアコンベンションセンター(宮崎市)
 出欠回答締切8/18(金)
 3) RCC 例会 11:00～ リンクビル9階

第2099回例会記録 8月7日(月)

クラブフォーラム

鹿児島中央ロータリークラブの奉仕への取り組みと意識について

副会長 下村 哲也



池ノ上克(つよむ) ガバナーのガバナー公式訪問にあたり、「鹿児島中央ロータリークラブの奉仕への取り組みと意識について」ご報告申し上げます。

1. 中央ロータリークラブの概要

鹿児島中央ロータリークラブは、1977年1月に鹿児島ロータリークラブをスポンサークラブとして設立されました。チャーターメンバーは30名。初代会長は大津篤造パストガバナーでした。

1981年、鹿児島中央ローターアクトクラブを設立。

1984年、韓国 of セ釜山ロータリークラブと姉妹盟約を締結。

1987年、創立10周年に際し鹿児島東ロータリークラブを設立。

1997年、会津若松西ロータリークラブと友好クラブ盟約を締結。

2002年、那覇西ロータリークラブと友好クラブ盟約を締結。

2020年、鹿児島大学アカデミーロータリークラブ設立。本年度が創立47周年となります。

2. 5大奉仕①：クラブ奉仕

会員増強委員会は常に会員増強を目指し活動しております。毎年会員増強フォーラムを開催し、会員増強に関して会員の皆さんからアイデアを募り、実践しております。昨年度は5名(7月：鈴木健、10月：宮里幸彦、3月：逆瀬川勇、4月：浦島優子、6月：林幸一郎)の新入会員がありました。

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、例会は通常通りに戻りました。外部卓話も定期的に行っております。昨年2022年6月27日例会では、先日、残念ながらお亡くなりになりました、元阪神タイガースの横田慎太郎さんに卓話をしていただきました。

会員の交流・親睦ですが、8月の納涼家族会、12月の忘年家族会は、親睦委員会の尽力で毎回楽しく開催しております。春の観桜会は、会場を提供していた会員の急逝で中止となりましたが、本年度は開催される予定です。

広報雑誌IT委員会による週報の発行、「ロータリーの友」の見所紹介、ホームページの充実もはかっています。

出席委員会も出席報告に工夫を凝らし、100パーセント出席例会を上期と下期で設定し、取り組んでいます。

ロータリー情報委員会は定期的に学習会を開催し、会員がロータリーについて学ぶ機会を作っています。

3. 5大奉仕②：職業奉仕

毎例会時に職業宣言を唱和し職業倫理の理解と実践に努めております。

講演の中で、ゴードン マッキナリー会長は、2004年に東南アジアを襲った大津波の時、被害を受けたタイの村で、ロータリアンとして復興作業に当たられたそうです。全てを失って憔悴した老婦人から、「皆さんの作業を見ていて、生きる希望がわいてきました。お礼に私が30年来大切にしてきたものを差しあげます」といって美しい貝殻を渡されたそうです。その貝殻は美しい光を放っており、その美しさが今年度の国際ロータリーのテーマカラーに繋がったと説明されました。そしてテーマとなった「世界に希望を生み出そう」の言葉もそこから生まれて来たのだそうです。

さらに、マッキナリー会長は希望を生み育てる土壌は「平和」であり、「メンタルヘルス」の維持はその原点となるもので、私たちはメンタルヘルスの問題に積極的に取り組む勇気が必要であるとも強調されました。

自然災害や戦禍にみまわれ、つらい思いをしている世界の人々にとって、希望を生み出すことの大切さが強調された講演でした。幸いにもその時会場に居合せた私はとても感動してお話を聞くことができました。

ゴードン マッキナリー会長のRIのテーマを受けて、私たちの国際ロータリー第2730地区の今年度のテーマは「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」としました。また、基本方針はロータリーの「継続と変化」および「メンタルヘルスへの取り組み」の2本柱としました。

ロータリーは継続と変化を基本にして、常に前に進んでいます。私たちの地区の各クラブや各グループの活動も継続と変化およびメンタルヘルスの維持を基本に、ガバナー補佐の方々との連携を密にして、それぞれに独自の形で進めていただきたいと期待しています。

継続と変化の対象になる主な項目には、ローターアクトクラブとの協力体制の強化、女兒のエンパワーメント、DEIの推進、ポリオ根絶などが挙げられます。

そしてその行動計画の実行については、各クラブやグループのこれまでの経緯と成果があると思われますので、それを引継ぎながら、最近の社会的変化に応じた活動を目指していただきたいと思います。クラブが独自に計画して実行しておられるプロジェクトや、米山記念奨学会への寄付、青少年育成、公共イメージの向上、クラブ奉仕の強化、社会奉仕の実践などが含まれます。ロータリー賞獲得への積極的なチャレンジも期待したいと思います。

メンタルヘルスへについては マッキナリー RI 会長がロータリーに向けて初めて示された取り組みです。RI2730地区としても活動を始めたいと思います。自分自身や社会の中におけるメンタルヘルスに関する偏見を無くし、同僚や親しい人に何か心の異変を感じたら、支援の手を差し伸べる勇気をお互いに持ちたいと思います。メンタルヘルスの健全性とその維持は希望を生み出す原点となるものです。

皆様のご支援をいただきながら、2023-2024年度は平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフにしていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

また、「目立たない職業ひとすじに永年、地域社会に奉仕した市民を表彰する」という目的のもとに職業奉仕賞を1979年に設けて、現在まで継続しております。

昨年度は、1月末に藤絹織物株式会社の社員で、勤続45年になる上村和己様を表彰させていただきました。

また会員の職業奉仕への理解という観点から、年に1回職場訪問例会を開催しております。ここ数年は新型コロナウイルス感染防止のために実施できておりませんが、今年度は実施されると思います。

4. 5大奉仕③：社会奉仕

RCC「犬猫と共生できる社会をめざす会鹿児島」様の活動に対する支援を行っております。具体的には、チャリティーカレンダーの購入、譲渡会への参加、例会での卓話が主なものになります。

交通安全啓蒙活動として、交通安全協会様への例会での講演をお願いし、協力を行っております。

また、鹿児島市内には乳児院が2つあり、毎年交互に支援活動を行うということに理事会で決まっております。

昨年度は、令和4年12月11日に、鹿児島乳児院を訪問し、乳児から5歳まで約20人の子どもたちにクリスマスプレゼントを届けております。

また、地区内クラブと合同で、令和5年4月「ロータリー奉仕デー海岸美化プロジェクト」に参加し、SDGs活動も行っております。

5. 5大奉仕④：国際奉仕

主な活動は、姉妹盟約を締結しております韓国 of セ釜山ロータリークラブとの交流になるかと思えます。毎年7月の会長離就任記念式典にはたくさんの当クラブ会員が釜山へ参ります。

また、周年事業の中で両クラブが協力してWCS事業(世界社会奉仕)を行うなど、国際理解と親善に努めています。ほかに、現在、米山記念奨学生としてグエンティトゥさんを受け入れております。

6. 5大奉仕⑤：青少年奉仕

鹿児島中央ローターアクトクラブのサポートということになりますが、残念ながらここ数年会員不在で、活動休止中であります。しかしながら、鹿児島大学アカデミーロータリークラブの協力を得て、鹿児島大学の学生を中心に会員募集を図る予定で打ち合わせを進めております。

7. 他のクラブの活動(市内各クラブ)

子クラブ間の交流ですが、令和4年9月に鹿児島東ロータリークラブとの合同例会も開催しました。

また、令和5年3月、鹿児島東ロータリークラブ・鹿児島大学アカデミーロータリークラブとの合同例会も開催しました。

また、親クラブ等との交流につきましても、令和5年4月に鹿児島ロータリークラブ、鹿児島西ロータリークラブと3クラブ合同例会を開催致しました。

8. 他のクラブの活動(県外クラブ)

ここ数年コロナ過で中止となりましたが、例年、11月には那覇西ロータリークラブと協力して、高校生交流も開催しております。交流委員会の尽力により、鹿児島市の樟南

高等学校と沖縄尚学高等学校の生徒間の交流もさらに発展していくものと思います。

今期は、新しいかたちの交流活動に挑戦しており、令和4年6月、友好盟約先である会津若松西RCの記念式典に参加し、また、同クラブのもう一つの友好盟約先であった鶴岡西RCとの交流も深めました。

ロータリー財団委員会もポールハリスフェロー、ベネファクター2名以上達成を目標に掲げて実行しております。

以上、当クラブの奉仕への取り組みを紹介致しました。歴代の先輩ロータリアンが、46年の長きにわたり築いてこられました鹿児島中央ロータリークラブの奉仕活動を大切にしながら、時代に合った奉仕活動を模索していき、今後もロータリーの精神に従ったクラブ運営をしていきたいと思えます。

クラブの強みと弱み(クラブが抱えている問題)について

副SAA 濱上 友美



私は2022年入会ということで鹿児島中央ロータリークラブについての理解は浅いと思えますが、改めて鹿児島中央ロータリークラブについて考える良い機会をいただけたことに感謝致します。大先輩方を前に気づけていない鹿児島中央ロータリークラブの魅力も多々あるかと思えますが、クラブの強みと弱み(クラブが抱えている問題)について、数値的なデータと主観的な観点より発表させていただきます。

①クラブの歴史について

我が鹿児島中央RCは1977年1月10日、鹿児島RCのスポンサークラブとしてチャーターメンバー30名で発足しました。鹿児島市内のRCでは5番目のクラブとなります。今期我がクラブは47周年目を迎えました。3年後には50周年を迎えます。一昨年の45周年を迎え、それを記念した立派な45年誌も発行しました。改めて鹿児島中央RCの45年の歩みについて感銘を受けました。諸先輩方からの良き伝統や習わしを継承すると共に新しい風を取り込みつつ更に鹿児島中央RCを盛り上げていきたいと思えます。

②会員数について

現在の会員数は7月期首時点で昨年から4名減少の49名です。昨年は新入会員数5名(前年度比+4.5%)に対して退会者が9名と多かったため会員数減少になりました。第2730地区各クラブ平均会員数は34.5名であり、会員数だけ比較すると我がクラブの会員数は多いクラブであると思えます。また、新入会員数は先々期3名、先期5名、今期すでに1名と順調に増えています。

③平均年齢について

我がクラブの平均年齢は61.98歳です。長寿命化が進む現代日本では、2022年平均寿命が男性81.05歳、女性はな